

伝送路網統合管理システムシミュレーションソフトウェア

世界的規模で構築した通信ネットワークで、サービス品質を維持するためにはネットワークを常に監視し、異常が生じた場合には迅速に復旧させなければならない。このネットワーク管理は、伝送設備監視、伝送路監視、伝送路設定変更、伝送路レストレーションなどの業務からなる。従来のネットワーク管理システムは、通信設備に対して付属的に扱われ、統一基準がなかったため操作上の混乱やミスを誘発するといった問題があった。その対策として 1994 年（平成 6）に開発されたソフトウェアが、伝送路網統合管理システムシミュレーションである。本ソフトウェアは、海底ケーブルなどに異常が生じた場合、ネットワーク管理作業を正確にかつ効率良く行うことを実現する。

出典：KDD 社史